

**光市の今後の都市づくりに向けた
市民アンケート調査 結果報告書**

平成30年3月

光 市

－ 目 次 －

I 調査概要	・・・・・・・・ 1
1 調査の目的	・・・・・・・・ 1
2 調査方法	・・・・・・・・ 1
3 配布・回収状況	・・・・・・・・ 1
4 調査項目	・・・・・・・・ 2
II 調査結果の概要	・・・・・・・・ 3
1 あなたご自身について	・・・・・・・・ 3
2 日常の交通手段について	・・・・・・・・ 7
3 お住まいの地区について	・・・・・・・・ 8
4 居住に関する意向について	・・・・・・・・ 18
5 光市の今後の都市づくりについて	・・・・・・・・ 21
参考資料	・・・・・・・・ 30
1 アンケート調査票	・・・・・・・・ 30

【報告書中の表記について】

- ・表やグラフ中の割合「%」は、未記入などの「不明」「非該当」を除いた回答者数に対する割合を示している。
- ・回答者の割合（%）は、小数点以下第2位を四捨五入した数値としている。そのため、各回答の合計が100.0%にならないことがある。
- ・複数回答の設問では、未記入などの「不明」「非該当」を除いた回答者数に対する割合を示しているため、合計は100.0%を超えることがある。

I 調査概要

1 調査目的

市民の日常生活の実態や今後の都市づくりに関する意向等を把握し、本市における今後の都市づくりの参考とすることを目的とします。

2 調査方法

① 対象者	16歳以上の市民 2,000人（無作為抽出）
② 調査方式	無記名回答方式
③ 調査方法	郵送により調査票を配布・回収
④ 調査期間	平成29年8月1日～平成29年8月14日（14日間）

3 回収状況

配布数	有効配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)
2,000	1,994	799	40.1%

4 調査項目

設問番号	項 目	設問形式
1 あなたご自身について		
問1	性別	SA
問2	年齢	SA
問3	同居家族の構成	SA
問4	職業	SA
問5	居住地区	SA
問6	居住年数	SA
問7	住宅形態	SA
2 日常の交通手段について		
問8	自家用車の所有の有無	SA
問9	普段最もよく利用する交通手段	SA
問10	公共交通の利用頻度	SA
3 お住まいの地区について		
問11	居住地区の住みやすさ（現在の評価と今後の重要性）	SA
4 居住に関する意向について		
問12	これまでの居住履歴	SA
問13	住まいを決める際に重視したこと	MA
問14	現在の住まいに住み続けたいかどうか	SA
問15	住み続けたい理由・要因	MA
問16	引っ越したい理由・要因	MA
5 今後の都市づくりについて		
問17	コンパクト・プラス・ネットワークの認知度	SA
問18	コンパクト・プラス・ネットワークを進めるべきか	SA
問19	コンパクトなまちが実現した際、どのような所に住みたいか	SA
問20	日常生活に関わりのある施設の立地	MA
問21	都市づくりについての提言（自由意見）	FA

※設問形式の凡例は以下のとおり

SA：Single Answer（単数回答）／MA：Multiple Answer（複数回答）／FA：Free Answer（自由回答）

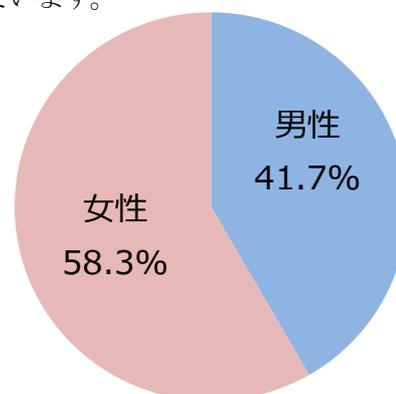
Ⅱ 調査結果の概要

1 あなたご自身について

問1 あなたの性別は？

回答者の性別は、「女性」が58.3%、「男性」が41.7%となっています。

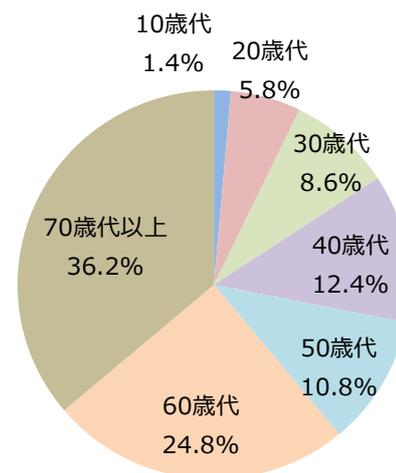
No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	330	41.7
2	女性	462	58.3
	全体	792	100.0



問2 あなたの年齢は？

回答者の年齢は、「70歳代以上」が36.2%と最も高く、次いで「60歳代」が24.8%、「40歳代」が12.4%であり、回答者のうち、60歳以上の占める割合が6割以上と高くなっています。

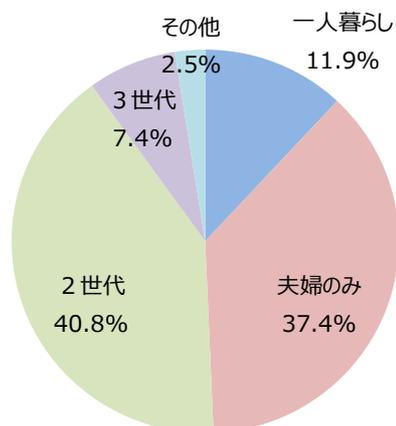
No.	カテゴリー名	n	%
1	10歳代	11	1.4
2	20歳代	46	5.8
3	30歳代	68	8.6
4	40歳代	98	12.4
5	50歳代	86	10.8
6	60歳代	197	24.8
7	70歳代以上	287	36.2
	全体	793	100.0



問3 あなたの同居家族の構成は？

回答者の家族構成は、「二世帯（親と子）」が40.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が37.4%、「一人暮らし」が11.9%となっています。

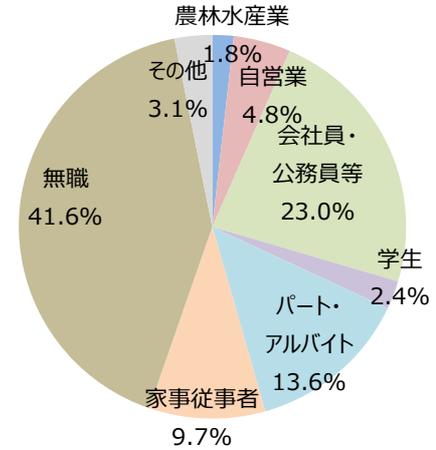
No.	カテゴリー名	n	%
1	一人暮らし	95	11.9
2	夫婦のみ	297	37.4
3	二世帯(親と子)	324	40.8
4	三世帯(親と子と孫)	59	7.4
5	その他	20	2.5
	全体	795	100.0



問4 あなたの職業は？

回答者の職業は、「無職」が41.6%と最も高く、次いで「会社員・公務員等」が23.0%、「パート・アルバイト」が13.6%となっています。

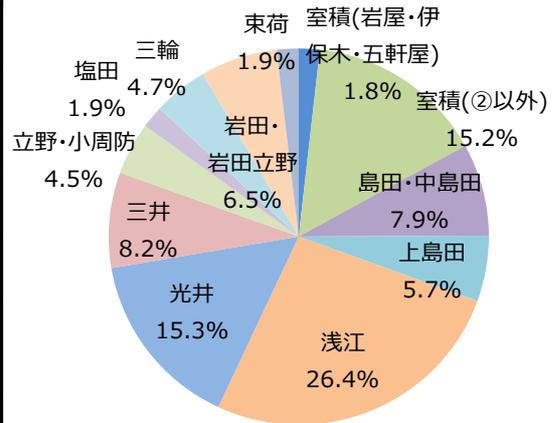
No.	カテゴリー名	n	%
1	農林水産業	14	1.8
2	自営業	38	4.8
3	会社員・公務員等	183	23.0
4	学生	19	2.4
5	パート・アルバイト	108	13.6
6	家事従事者	77	9.7
7	無職	330	41.6
8	その他	25	3.1
	全体	794	100.0



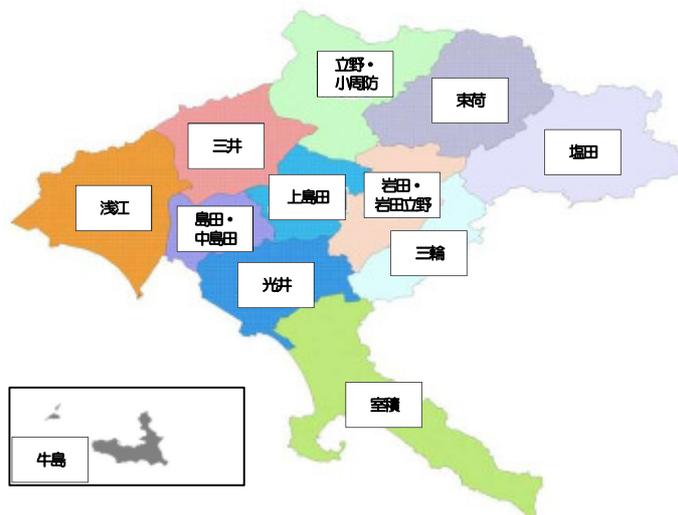
問5 あなたがお住まいの地区は？

回答者の居住地区は、「浅江」が26.4%と最も高く、次いで「光井」が15.3%、「室積(②以外)」が15.2%となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	牛島	0	0.0
2	室積(岩屋・伊保木・五軒屋)	14	1.8
3	室積(②以外)	121	15.2
4	島田・中島田	63	7.9
5	上島田	45	5.7
6	浅江	210	26.4
7	光井	122	15.3
8	三井	65	8.2
9	立野・小周防	36	4.5
10	塩田	15	1.9
11	三輪	37	4.7
12	岩田・岩田立野	52	6.5
13	東荷	15	1.9
	全体	795	100.0



(参考)



□（参考）総合計画などにおいて設定した4つの地域

回答者の居住地区を4地域別にみると、東部地域が15.0%、西部地域が34.3%、南部地域が32.3%、北部地域が18.4%となっています。

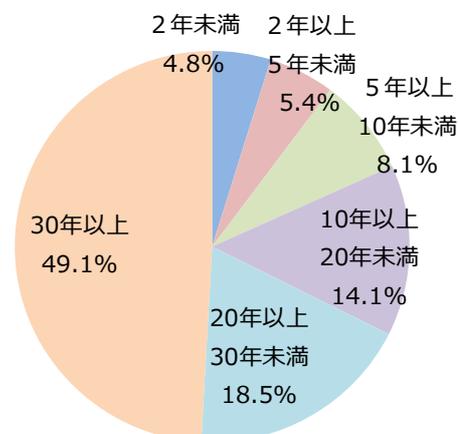


地域名	地区名	n	%
東部地域	⑩塩田、⑪三輪、⑫岩田・岩田立野、⑬束荷	119	15.0
西部地域	④島田・中島田、⑥浅江	273	34.3
南部地域	①牛島、②室積(岩屋・伊保木・五軒屋)、③室積(岩屋・伊保木・五軒屋以外)、⑦光井	257	32.3
北部地域	⑤上島田、⑧三井、⑨立野・小周防	146	18.4

問6 あなたの現在の住宅へのお住まい年数は？

回答者の居住年数は、「30年以上」が49.1%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」が18.5%、「10年以上20年未満」が14.1%で、市内に20年以上お住まいの方が7割程度となっています。

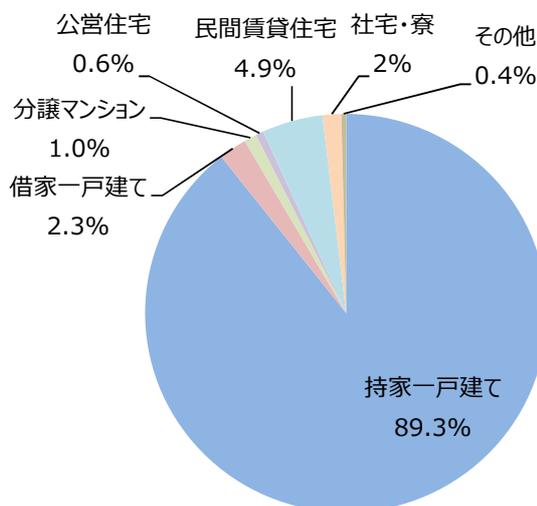
No.	カテゴリー名	n	%
1	2年未満	38	4.8
2	2年以上5年未満	43	5.4
3	5年以上10年未満	64	8.1
4	10年以上20年未満	112	14.1
5	20年以上30年未満	147	18.5
6	30年以上	390	49.1
	全体	794	100.0



問7 あなたのお住まいの住宅の形態は？

回答者の住宅形態は、「持家一戸建て」が89.3%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が4.9%、「借家一戸建て」が2.3%となっており、9割程度が「持家一戸建て」にお住まいです。

No.	カテゴリー名	n	%
1	持家一戸建て	712	89.3
2	借家一戸建て	18	2.3
3	分譲マンション	8	1.0
4	公営住宅	5	0.6
5	民間賃貸住宅	39	4.9
6	社宅・寮	12	1.5
7	その他	3	0.4
	全体	797	100.0

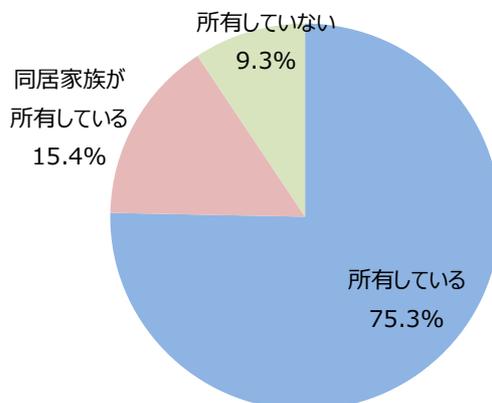


2 日常の交通手段について

問8 あなたは自家用車を所有していますか？

自家用車の所有状況については、「所有している」が75.3%と最も高く、次いで「同居家族が所有している」が15.4%、「所有していない」が9.3%で、9割程度の世帯が自家用車を所有しています。

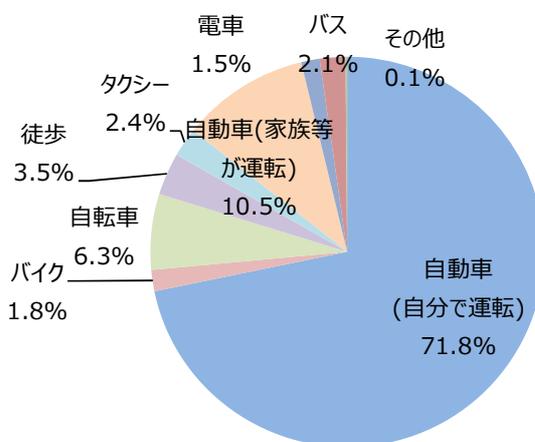
No.	カテゴリー名	n	%
1	所有している	598	75.3
2	同居家族が所有している	122	15.4
3	所有していない	74	9.3
	全体	794	100.0



問9 あなたが普段最もよく利用する交通手段は？

普段最もよく利用する交通手段では、「自動車(自分で運転)」が71.8%と最も高く、次いで「自動車(家族等が運転)」が10.5%、「自転車」が6.3%で、8割程度の方が、自動車(自分または家族等が運転)を最もよく利用しています。

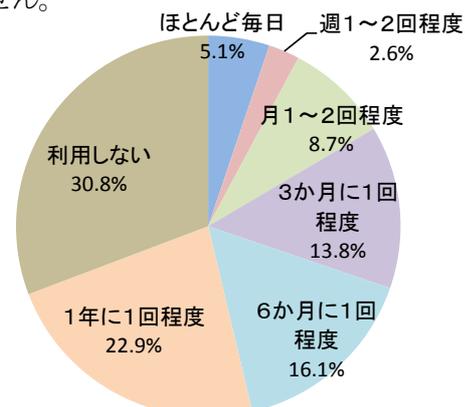
No.	カテゴリー名	n	%
1	自動車(自分で運転)	572	71.8
2	バイク	14	1.8
3	自転車	50	6.3
4	徒歩	28	3.5
5	タクシー	19	2.4
6	自動車(家族等が運転)	84	10.5
7	電車	12	1.5
8	バス	17	2.1
9	その他	1	0.1
	全体	797	100.0



問10 電車やバスなどの公共交通の利用頻度は？

公共交通の利用頻度では、「利用しない」が30.8%と最も高く、次いで「1年に1回程度」が22.9%、「6か月に1回程度」が16.1%で、公共交通の利用頻度は高くありません。

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんど毎日	39	5.1
2	週1～2回程度	20	2.6
3	月1～2回程度	66	8.7
4	3か月に1回程度	105	13.8
5	6か月に1回程度	122	16.1
6	1年に1回程度	174	22.9
7	利用しない	234	30.8
	全体	760	100.0



3 お住まいの地区について

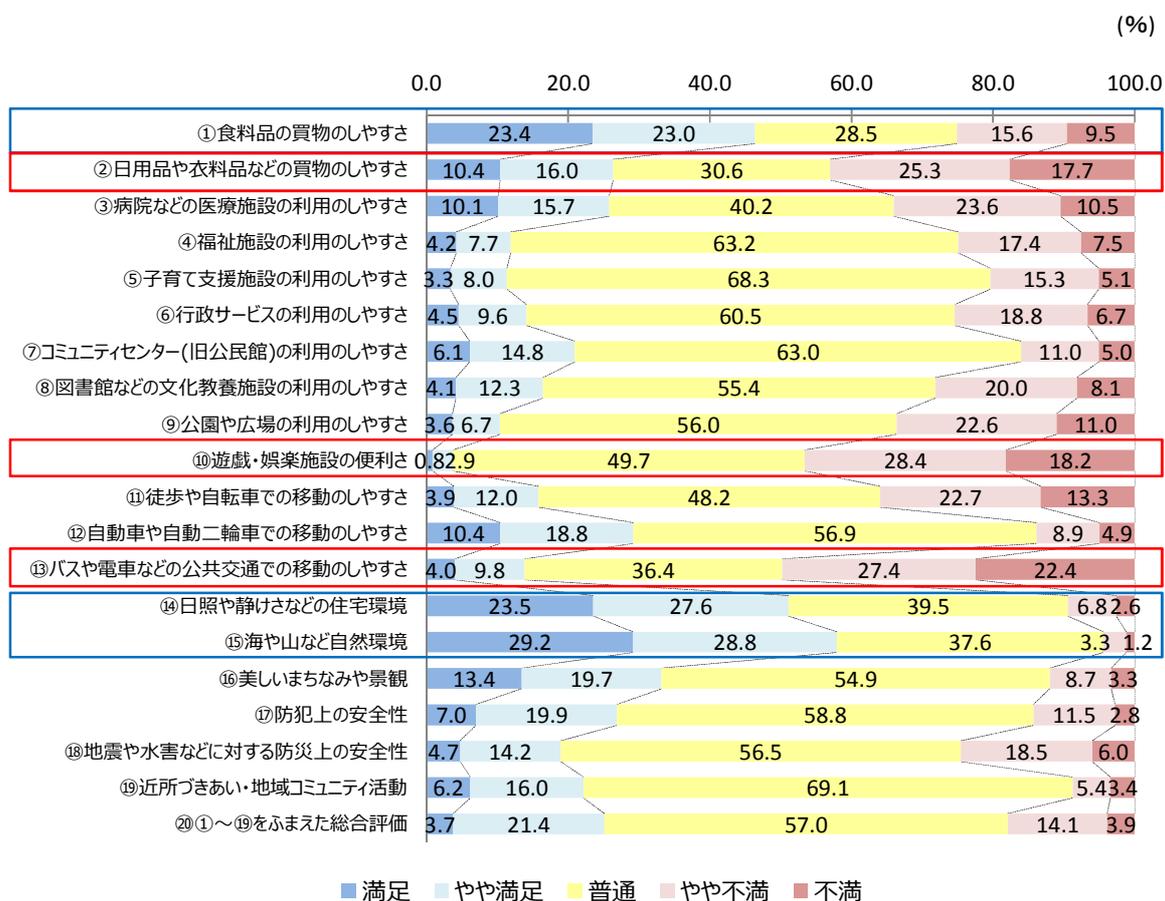
問 11 居住地区の住みやすさ（現在の評価と今後の重要性）

現在の評価

現在の評価が高い項目（満足＋やや満足の合計）は「⑮海や山など自然環境」が58.0%と最も高く、次いで「⑭日照や静けさなどの住宅環境」が51.1%、「①食料品の買物のしやすさ」が46.4%となっています。

一方で、評価が低い項目（不満＋やや不満の合計）は「⑬バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ」が49.8%と最も高く、次いで「⑩遊戯・娯楽施設の便利さ」が46.6%、「②日用品や衣料品などの買物のしやすさ」が43.0%となっています。

「住環境や自然環境にはおおむね満足」、「公共交通や遊戯施設等に関しては不満」との回答が多くなっています。

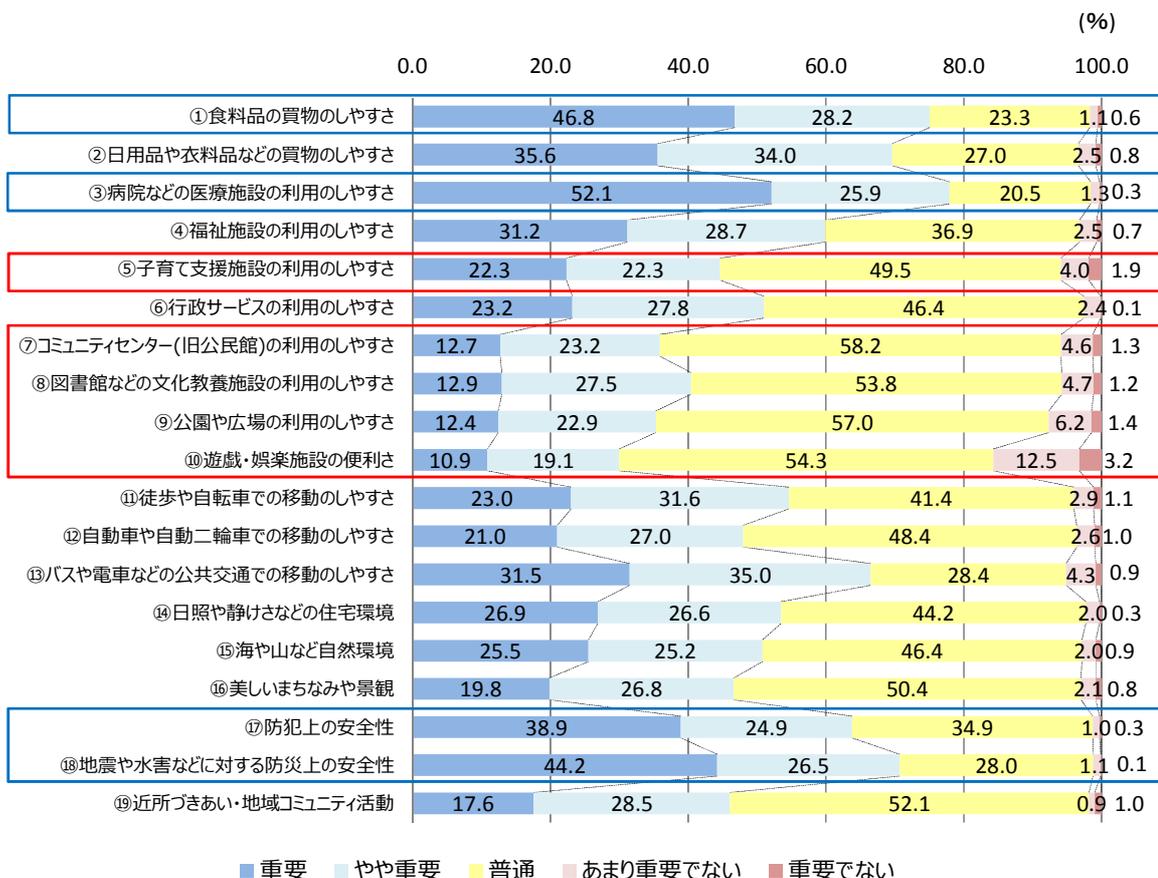


今後の重要性

今後の重要性について、重要性が高い項目（重要+やや重要の合計）は「③病院などの医療施設の利用のしやすさ」が78.0%と最も高く、次いで「⑰食品の買物のしやすさ」が75.0%、「⑱地震や水害などに対する防災上の安全性」が70.7%となっています。

一方で、重要性が低い項目（重要でない+あまり重要でないの合計）は「⑩遊戯・娯楽施設の利便さ」が15.7%と最も高く、次いで「⑨公園や広場の利用のしやすさ」が7.6%となっています。

3割以上の回答者が、いずれの項目も重要性が高いと回答しており、特に食品の買物のしやすさや医療の他に、防災・防犯上の安全性の重要性が高いと回答されています。



ニーズ度

各項目の現在の評価及び今後の重要性からニーズ度*を算出すると、「⑬バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ」(1.46)、「③病院などの医療施設の利用のしやすさ」(1.37)、「②日用品や衣料品などの買物のしやすさ」(1.25)などのニーズ度が高くなっています。

全体 項目	平均値:3.00		平均値:3.75		平均値:0.75	
	満足度 (A)		重要度 (B)		ニーズ度 (C=B-A)	
①食料品の買物のしやすさ	3.35		4.20		0.84	
②日用品や衣料品などの買物のしやすさ	2.76		4.01		1.25	
③病院などの医療施設の利用のしやすさ	2.91		4.28		1.37	
④福祉施設の利用のしやすさ	2.84		3.87		1.04	
⑤子育て支援施設の利用のしやすさ	2.89		3.59		0.70	
⑥行政サービスの利用のしやすさ	2.87		3.71		0.85	
⑦コミュニティセンター(旧公民館)の利用のしやすさ	3.06		3.41		0.36	
⑧図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ	2.84		3.46		0.62	
⑨公園や広場の利用のしやすさ	2.69		3.39		0.69	
⑩遊戯・娯楽施設の便利さ	2.40		3.22		0.82	
⑪徒歩や自転車での移動のしやすさ	2.70		3.72		1.02	
⑫自動車や自動二輪車での移動のしやすさ	3.21		3.64		0.44	
⑬バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ	2.46		3.92		1.46	
⑭日照や静けさなどの住宅環境	3.63		3.78		0.15	
⑮海や山など自然環境	3.82		3.73		-0.09	
⑯美しいまちなみや景観	3.31		3.63		0.31	
⑰防犯上の安全性	3.17		4.01		0.84	
⑱地震や水害などに対する防災上の安全性	2.93		4.14		1.20	
⑲近所づきあい・地域コミュニティ活動	3.16		3.61		0.45	

平均点よりも低い
 平均点よりも高い

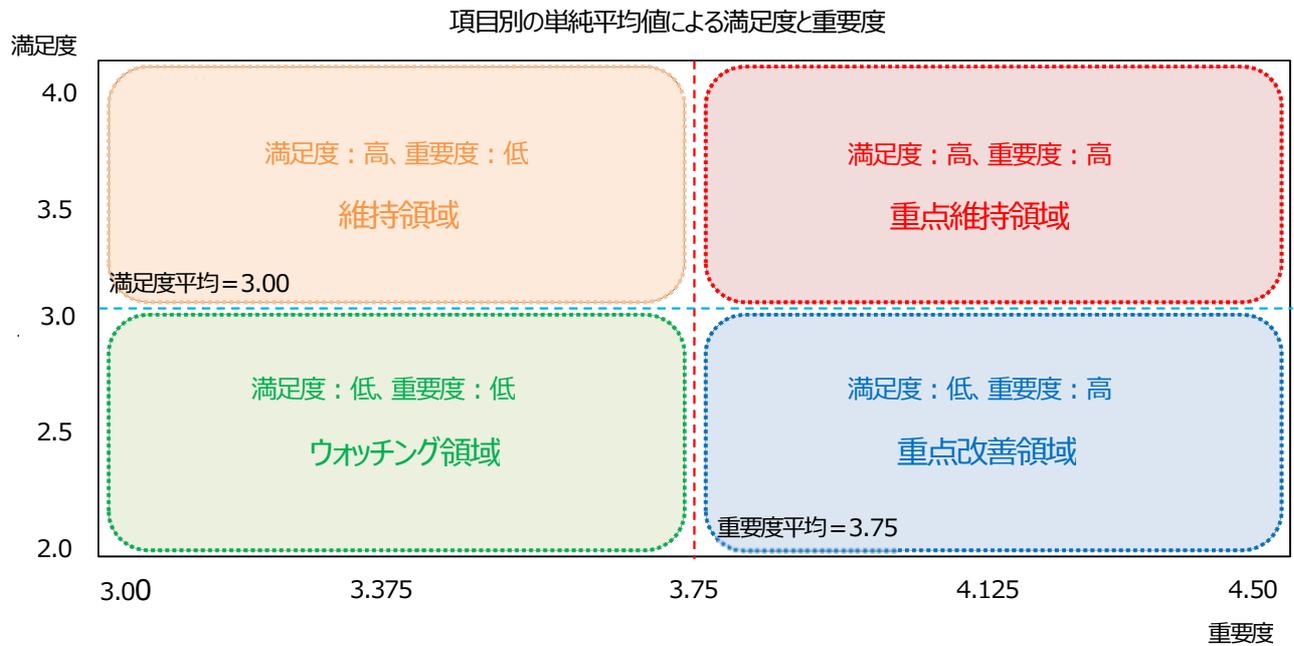
ニーズ度について

- ・各項目の現在の評価（満足度）と今後の重要性（重要度）を点数化し、その差をニーズ度とした
- ・各項目の点数は、「満足」「重要」を5点、「やや満足」「やや重要」を4点、「普通」を3点、「やや不満」「あまり重要でない」を2点、「不満」「重要でない」を1点とし、回答者の平均点を当該項目の点数とした

満足度と重要度の分布図

全体平均値に対する各項目の満足度と重要度の単純平均値の分布から、各項目を『重点改善領域』、『重点維持領域』、『ウォッチング領域』、『維持領域』に分類し、整理します。

■分類イメージ

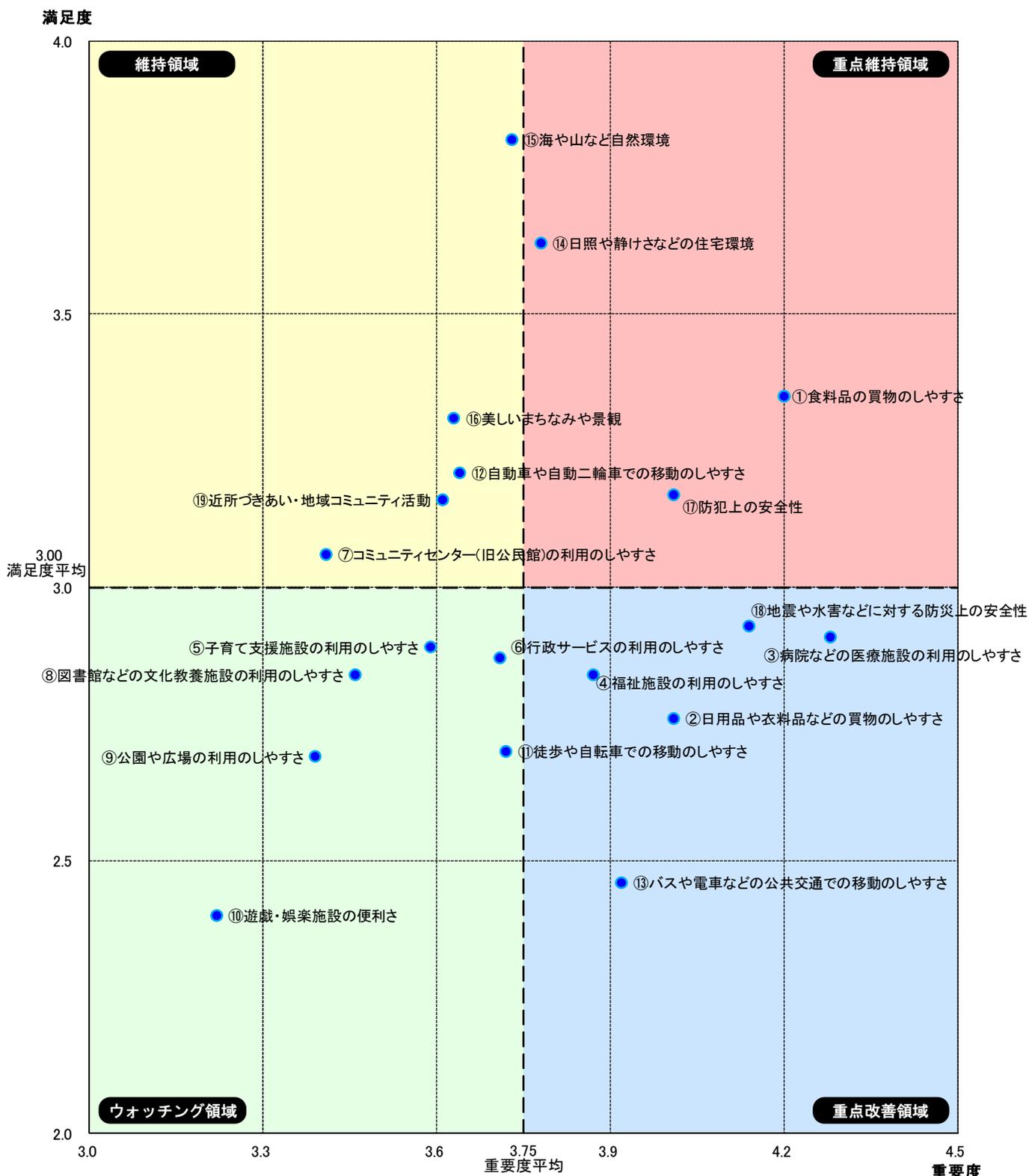


■分類結果

領域	領域の位置づけ	該当項目
重点改善領域	重要度が高く満足度が低い 満足度を高めるための重点的な改善（取組み）が必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> 日用品や衣料品などの買物のしやすさ 病院などの医療施設の利用のしやすさ 福祉施設の利用のしやすさ バスや電車などの公共交通 地震や水害などに対する防災上の安全性
重点維持領域	重要度、満足度ともに高い 現在の水準が低下しないように重点的に維持していくことが必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> 食料品の買物のしやすさ 日照や静けさなどの住宅環境 防犯上の安全性
ウォッチング領域	重要度、満足度ともに低い 推移を注視しながら現状維持、あるいは、改善が必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援施設の利用のしやすさ 行政サービスの利用のしやすさ 図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ 公園や広場の利用のしやすさ 遊戯・娯楽施設の便利さ 徒歩や自転車での移動のしやすさ
維持領域	重要度が低く満足度が高い 現状の維持が必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターの利用のしやすさ 自動車や自動二輪車での移動のしやすさ 美しいまちなみや景観 近所づきあい・地域コミュニティ活動

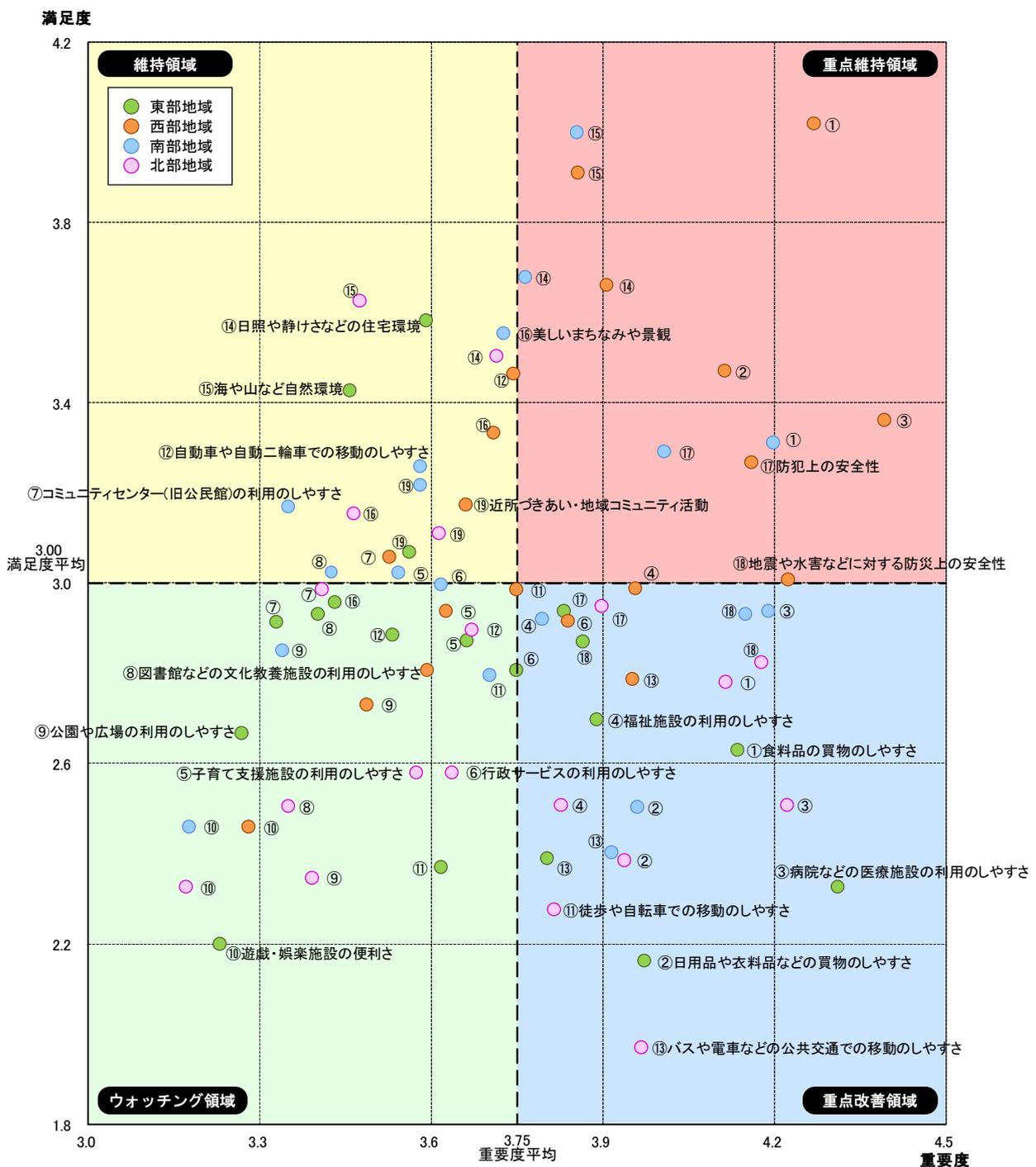
■分布図

・市域全体では、「日用品や衣料品などの買物のしやすさ」や「病院などの医療施設の利用のしやすさ」、「福祉施設の利用のしやすさ」、「バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ」、「地震や水害などに対する防災上の安全性」が、重要度が高いものの満足度が低い「重点改善領域」に位置しています。



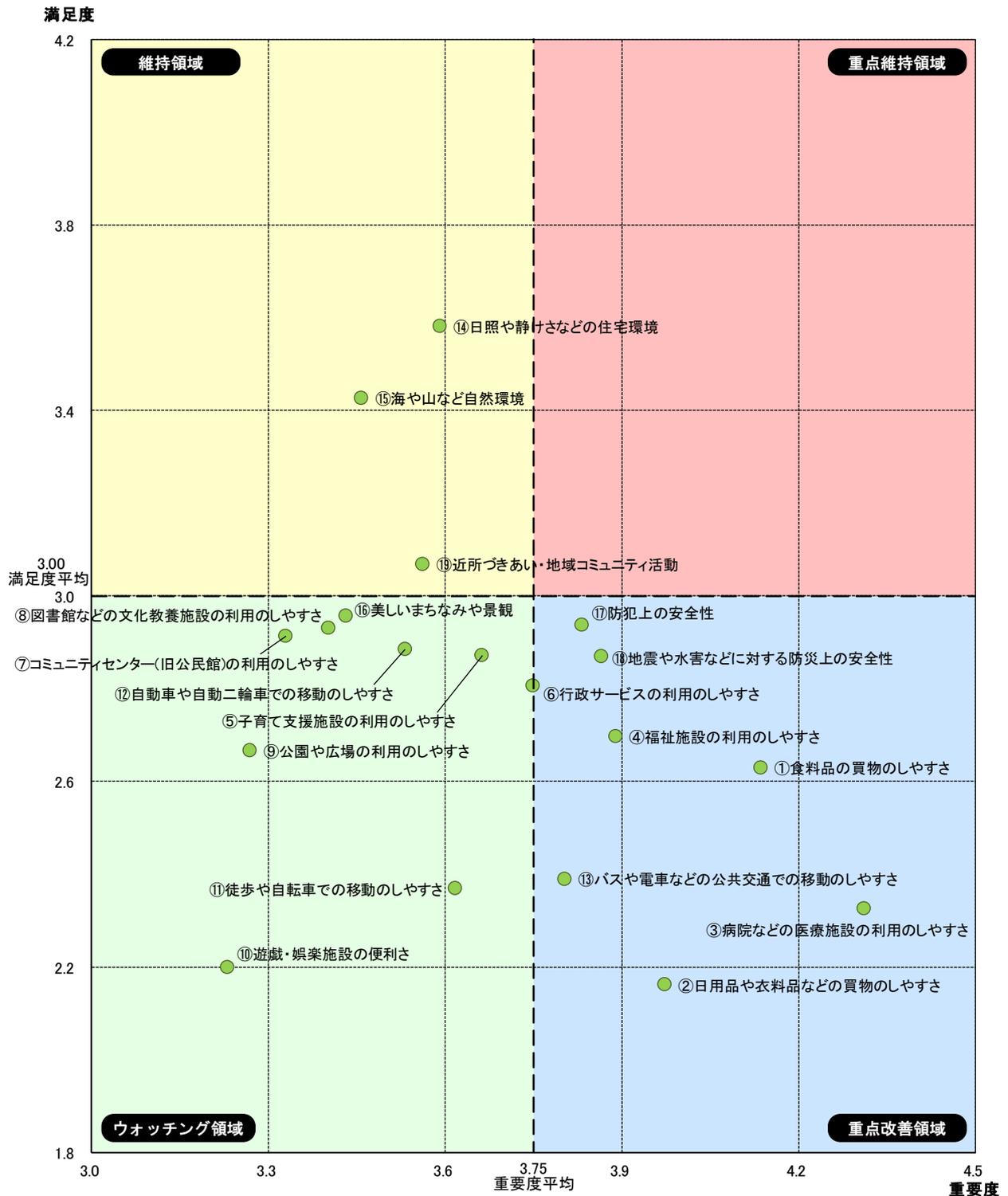
■ 4 地域別分布図

- ・ 東部地域は、相対的に満足度が低い項目が多く、「食料品の買物のしやすさ」、「日用品や衣料品などの買物のしやすさ」、「病院などの医療施設の利用のしやすさ」などが重点改善領域
- ・ 西部地域は、相対的に満足度が高い項目が多い。「バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ」、「行政サービスの利用のしやすさ」などが重点改善領域
- ・ 南部地域は、おおむね市全体の傾向と同様で、「バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ」、「日用品や衣料品などの買物のしやすさ」、「地震や水害などに対する防災上の安全性」などが重点改善領域
- ・ 北部地域は、相対的に重点改善領域の項目が多く、「バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ」、「日用品や衣料品などの買物のしやすさ」、「病院などの医療施設の利用のしやすさ」をはじめ8項目が重点改善領域



■ 東部地域の分布図及び分類表

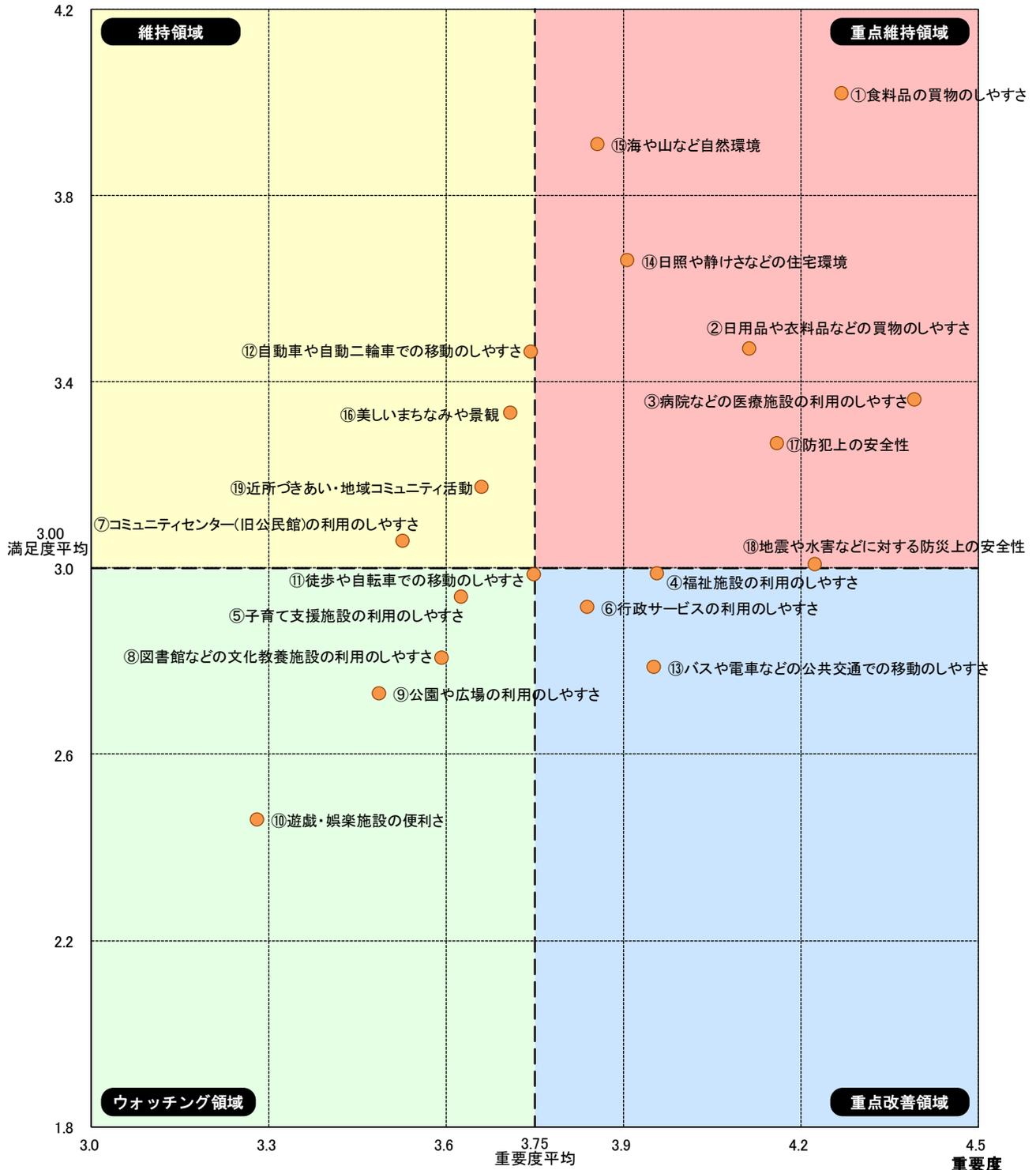
領域	該当項目	領域	該当項目
重点改善領域	① 食料品の買物のしやすさ	ウォッチング領域	⑦ コミュニティセンター(旧公民館)の利用のしやすさ
	② 日用品や衣料品などの買物のしやすさ		⑧ 図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ
	③ 病院などの医療施設の利用のしやすさ		⑨ 公園や広場の利用のしやすさ
	④ 福祉施設の利用のしやすさ		⑩ 遊戯・娯楽施設の利便さ
	⑤ 子育て支援施設の利用のしやすさ		⑪ 徒歩や自転車での移動のしやすさ
	⑥ 行政サービスの利用のしやすさ		⑫ 自動車や自動二輪車での移動のしやすさ
	⑬ バスや電車などの公共交通		⑭ 美しいまちなみや景観
重点維持領域	⑰ 防犯上の安全性	維持領域	⑮ 地震や水害などに対する防災上の安全性
			⑭ 日照や静けさなどの住宅環境
			⑯ 海や山など自然環境
			⑰ 近所づきあい・地域コミュニティ活動



■ 西部地域の分布図及び分類表

領域	該当項目	領域	該当項目
重点改善領域	④福祉施設の利用のしやすさ	ウォッチング領域	⑧図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ
	⑬バスや電車などの公共交通		⑨公園や広場の利用のしやすさ
	⑥行政サービスの利用のしやすさ		⑤子育て支援施設の利用のしやすさ
重点維持領域	①食料品の買物のしやすさ		⑩遊戯・娯楽施設の便利さ
	②日用品や衣料品などの買物のしやすさ		⑪徒歩や自転車での移動のしやすさ
	③病院などの医療施設の利用のしやすさ		⑦コミュニティセンター(旧公民館)の利用のしやすさ
	⑭日照や静けさなどの住宅環境	⑫自動車や自動二輪車での移動のしやすさ	
	⑮海や山など自然環境	⑯美しいまちなみや景観	
⑰防犯上の安全性	⑱近所づきあい・地域コミュニティ活動		
⑱地震や水害などに対する防災上の安全			

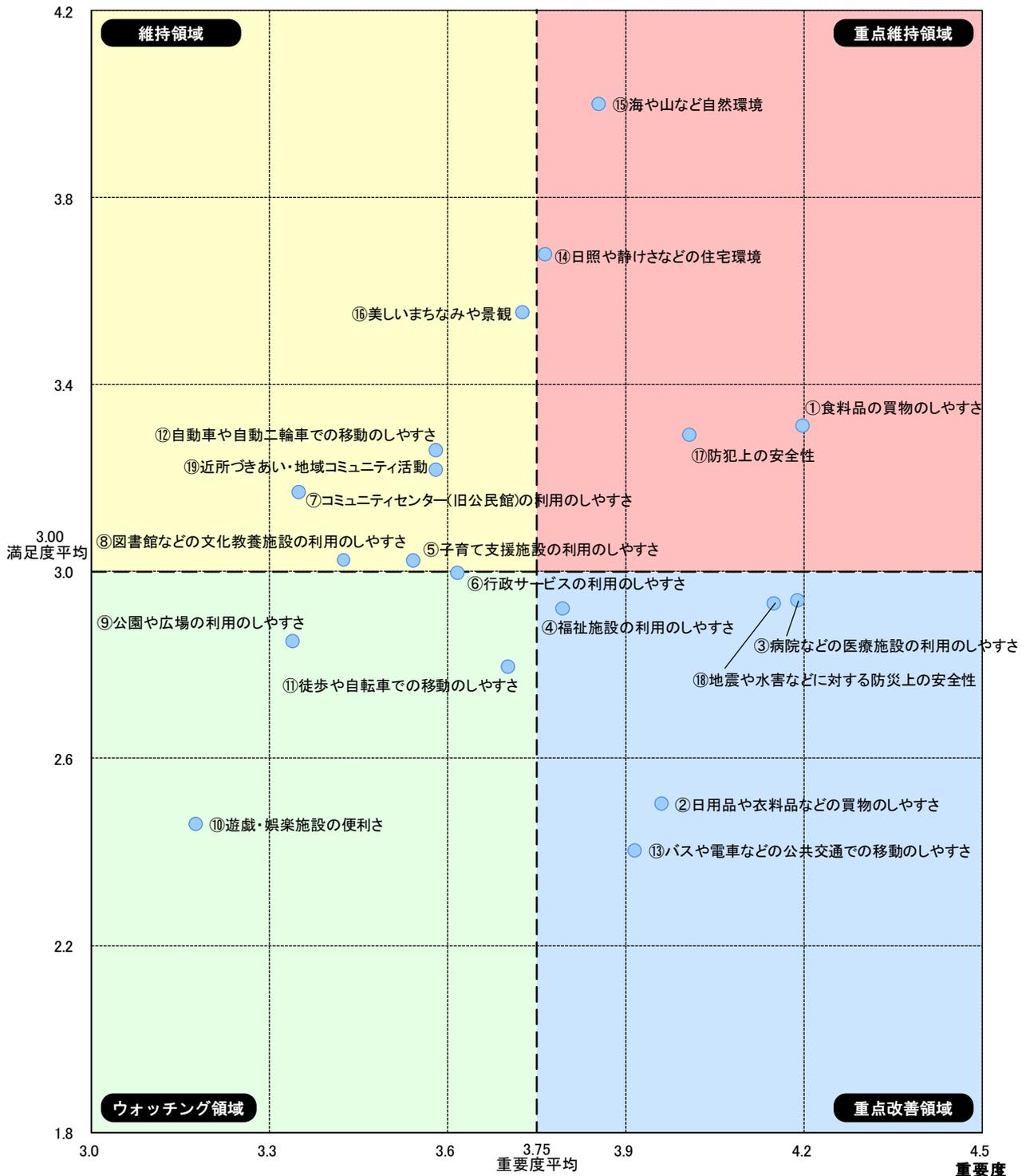
満足度



■ 南部地域の分布図及び分類表

領域	該当項目	領域	該当項目
重点改善領域	②日用品や衣料品などの買物のしやすさ	ウォッチング領域	⑥行政サービスの利用のしやすさ
	③病院などの医療施設の利用のしやすさ		⑨公園や広場の利用のしやすさ
	④福祉施設の利用のしやすさ		⑩遊戯・娯楽施設の便利さ
	⑬バスや電車などの公共交通		⑪徒歩や自転車での移動のしやすさ
重点維持領域	⑮地震や水害などに対する防災上の安全性	維持領域	⑤子育て支援施設の利用のしやすさ
	①食料品の買物のしやすさ		⑦コミュニティセンター(旧公民館)の利用のしやすさ
	⑭日照や静けさなどの住宅環境		⑧図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ
	⑮海や山など自然環境		⑫自動車や自動二輪車での移動のしやすさ
⑰防犯上の安全性	⑯美しいまちなみや景観		
			⑲近所づきあい・地域コミュニティ活動

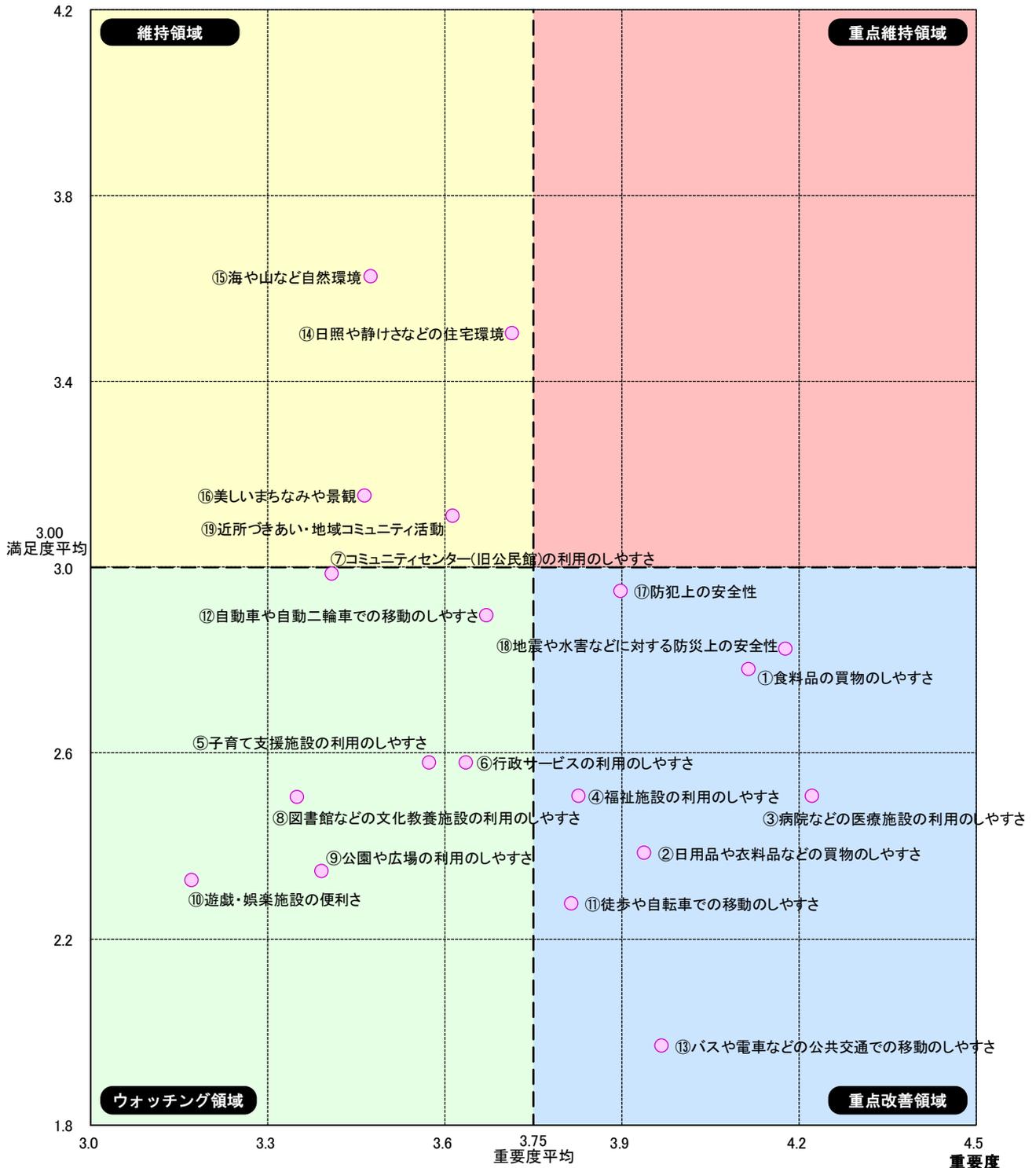
満足度



■北部地域の分布図及び分類表

領域	該当項目	領域	該当項目
重点改善領域	①食料品の買物のしやすさ	ウォッチング領域	⑤子育て支援施設の利用のしやすさ
	②日用品や衣料品などの買物のしやすさ		⑥行政サービスの利用のしやすさ
	③病院などの医療施設の利用のしやすさ		⑦コミュニティセンター(旧公民館)の利用のしやすさ
	④福祉施設の利用のしやすさ		⑧図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ
	⑩徒歩や自転車での移動のしやすさ		⑨公園や広場の利用のしやすさ
	⑬バスや電車などの公共交通		⑩遊戯・娯楽施設の便利さ
	⑰防犯上の安全性		⑫自動車や自動二輪車での移動のしやすさ
	⑱地震や水害などに対する防災上の安全		⑭日照や静けさなどの住宅環境
重点維持領域		維持領域	⑮海や山など自然環境
			⑯美しいまちなみや景観
			⑲近所づきあい・地域コミュニティ活動

満足度

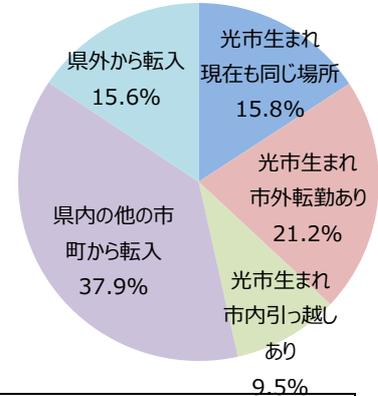


4 居住に関する意向について

問 12 あなたのこれまでの居住履歴は？

居住歴では、「県内の他の市町から転入」が 37.9%と最も多く、次いで「光市生まれ、市外転出あり」が 21.2%、「光市生まれ、現在も同じ場所」が 15.8%となっており、市外からの転入者（「県外から転入」 + 「県内の他の市町から転入」）が、半数程度となっています。

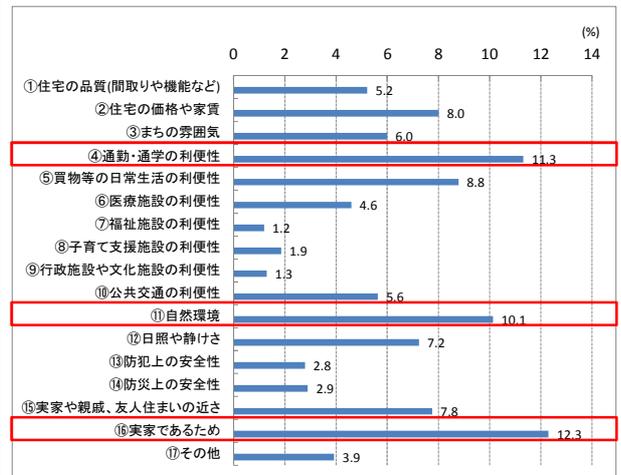
No.	カテゴリー名	n	%
1	光市生まれ、現在も同じ場所	124	15.8
2	光市生まれ、市外転出あり	167	21.2
3	光市生まれ、市内引っ越しあり	75	9.5
4	県内の他の市町から転入	298	37.9
5	県外から転入	123	15.6
	全体	787	100.0



問 13 現在の住まいを決める際に重視したことは？

住まいを決める際に重視したことでは、「⑩実家であるため」が 12.3%と最も多く、次いで「④通勤・通学の利便性」が 11.3%、「⑪自然環境」が 10.1%となっています。

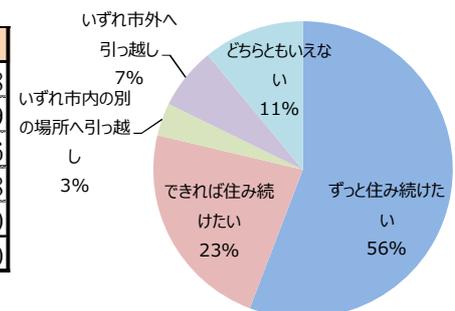
No.	カテゴリー名	n	%
1	①住宅の品質(間取りや機能など)	101	5.2
2	②住宅の価格や家賃	155	8.0
3	③まちなぎの雰囲気	116	6.0
4	④通勤・通学の利便性	219	11.3
5	⑤買物等の日常生活の利便性	170	8.8
6	⑥医療施設の利便性	89	4.6
7	⑦福祉施設の利便性	23	1.2
8	⑧子育て支援施設の利便性	36	1.9
9	⑨行政施設や文化施設の利便性	25	1.3
10	⑩公共交通の利便性	109	5.6
11	⑪自然環境	196	10.1
12	⑫日照や静けさ	140	7.2
13	⑬防犯上の安全性	54	2.8
14	⑭防災上の安全性	56	2.9
15	⑮実家や親戚、友人住まいの近さ	150	7.8
16	⑯実家であるため	238	12.3
17	⑰その他	76	3.9
	全体	1935	100.0



問 14 現在のお住まいに今後も住み続けたいですか？

現在のお住まいへの永住意向では、「ずっと住み続けたい」が 38.7%と最も多く、次いで「できれば住み続けたい」が 32.3%、次いで「どちらともいえない」が 11.0%となっており、8割程度の方が、今後も住み続けたい（「ずっと住み続けたい」 + 「できれば住み続けたい」）と回答しています。

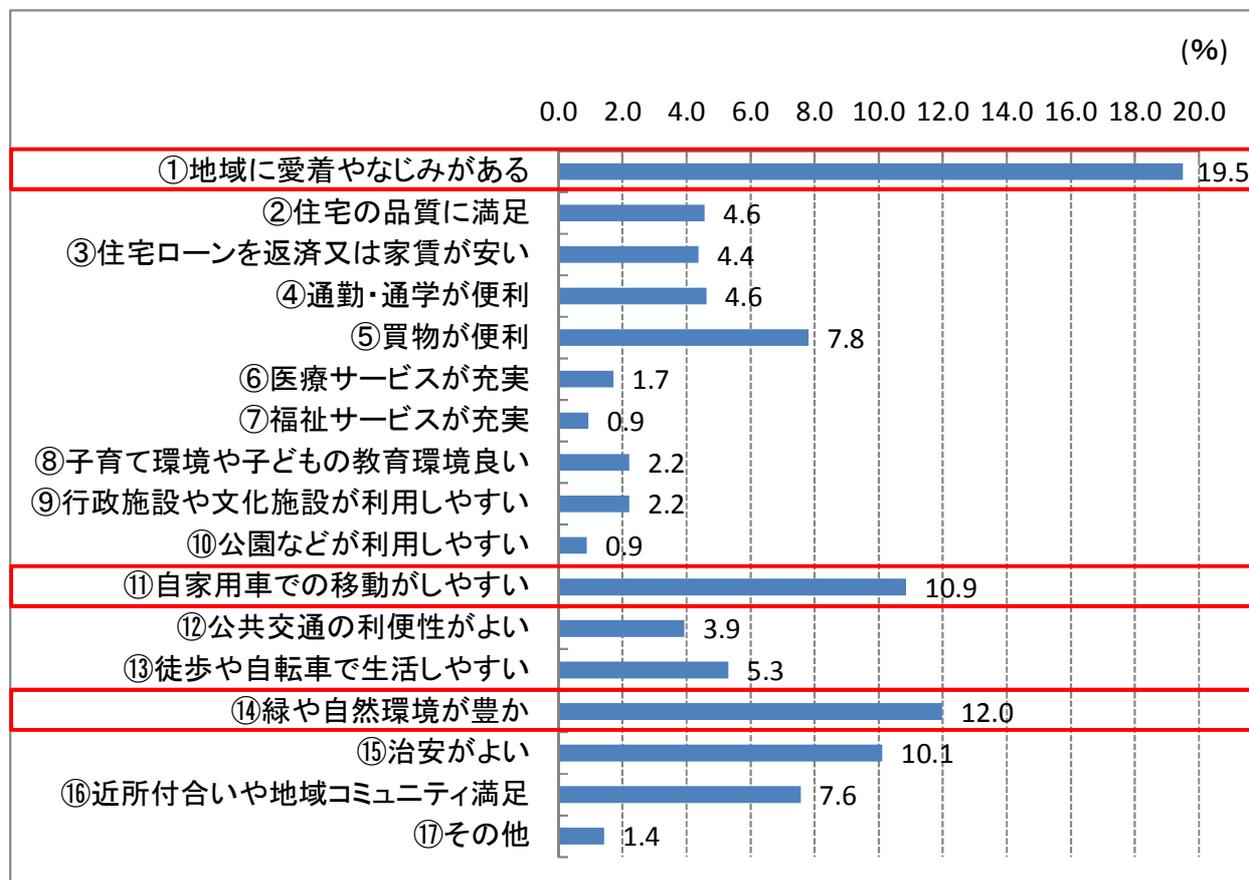
No.	カテゴリー名	n	%
1	ずっと住み続けたい	438	55.8
2	できれば住み続けたい	180	22.9
3	いずれ市内の別の場所へ引っ越し	28	3.6
4	いずれ市外へ引っ越し	53	6.8
5	どちらともいえない	86	11.0
	全体	785	100.0



問 15 問 14 で①、②を選択した方にお聞きます。住み続けたい理由・要因は？

住み続けたい理由・要因では、「①地域に愛着やなじみがあるから」が 19.5%と最も多く、次いで「⑭緑や自然環境が豊か」が 12.0%、「⑪自家用車での移動がしやすい」が 10.9%となっています。

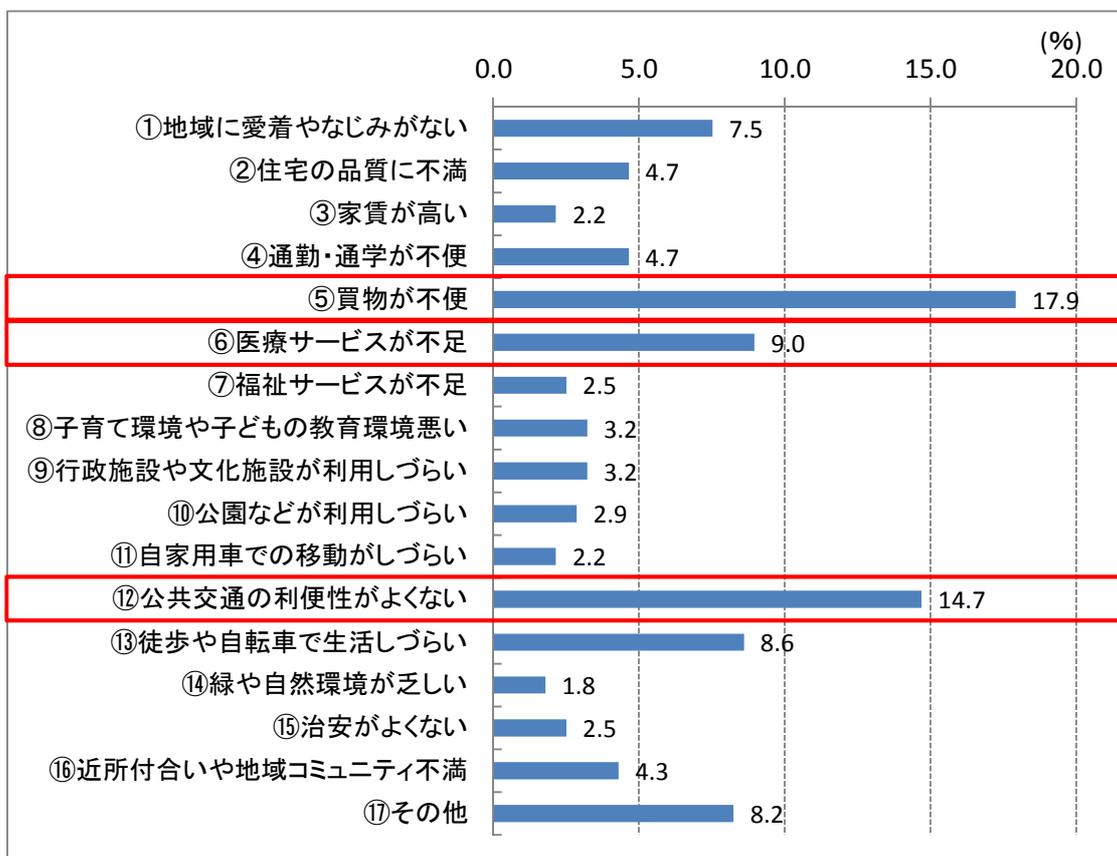
No.	カテゴリー名	n	%
1	①地域に愛着やなじみがある	397	19.5
2	②住宅の品質に満足	93	4.6
3	③住宅ローンを返済又は家賃が安い	89	4.4
4	④通勤・通学が便利	94	4.6
5	⑤買物が便利	159	7.8
6	⑥医療サービスが充実	35	1.7
7	⑦福祉サービスが充実	19	0.9
8	⑧子育て環境や子どもの教育環境良	45	2.2
9	⑨行政施設や文化施設が利用しやす	45	2.2
10	⑩公園などが利用しやすい	18	0.9
11	⑪自家用車での移動がしやすい	221	10.9
12	⑫公共交通の利便性がよい	80	3.9
13	⑬徒歩や自転車で生活しやすい	108	5.3
14	⑭緑や自然環境が豊か	244	12.0
15	⑮治安がよい	206	10.1
16	⑯近所付き合いや地域コミュニティ満	154	7.6
17	⑰その他	29	1.4
	全体	2,036	100.0



問 16 問 14 で③、④を選択した方にお聞きます。引っ越したい理由・要因は？

引っ越したい理由・要因では、「⑤買物が不便」が 17.9%と最も多く、次いで「⑫公共交通の利便性がよくない」が 14.7%、「⑥医療サービスが不足」が 9.0%となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	①地域に愛着やなじみがない	21	7.5
2	②住宅の品質に不満	13	4.7
3	③家賃が高い	6	2.2
4	④通勤・通学が不便	13	4.7
5	⑤買物が不便	50	17.9
6	⑥医療サービスが不足	25	9.0
7	⑦福祉サービスが不足	7	2.5
8	⑧子育て環境や子どもの教育環境悪	9	3.2
9	⑨行政施設や文化施設が利用しづら	9	3.2
10	⑩公園などが利用しづらい	8	2.9
11	⑪自家用車での移動がしづらい	6	2.2
12	⑫公共交通の利便性がよくない	41	14.7
13	⑬徒歩や自転車で生活しづらい	24	8.6
14	⑭緑や自然環境が乏しい	5	1.8
15	⑮治安がよくない	7	2.5
16	⑯近所付き合いや地域コミュニティ不	12	4.3
17	⑰その他	23	8.2
	全体	279	100.0

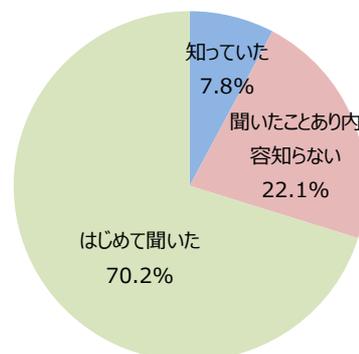


5 光市の今後の都市づくりについて

問 17 「コンパクト・プラス・ネットワーク」についてご存知でしたか？

「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」について、「はじめて聞いた」が70.2%と最も多く、次いで「聞いたことあり、内容は知らない」が22.1%、「知っていた」が7.8%となっており、「コンパクト・プラス・ネットワーク」について、知っていた回答者は1割未満でした。

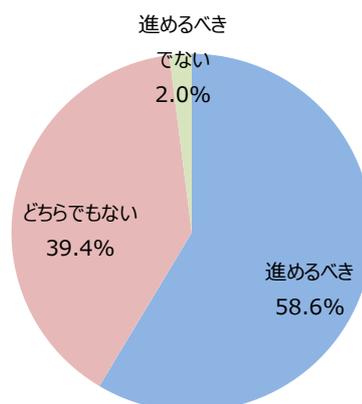
No.	カテゴリー名	n	%
1	知っていた	60	7.8
2	聞いたことあり、内容は知らない	171	22.1
3	はじめて聞いた	543	70.2
	全体	774	100.0



問 18 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めることについて、どう思いますか？

「進めるべき」が58.6%と最も多く、次いで「どちらでもない」が39.4%となっており、6割程度の回答者が「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めるべきと回答しています。

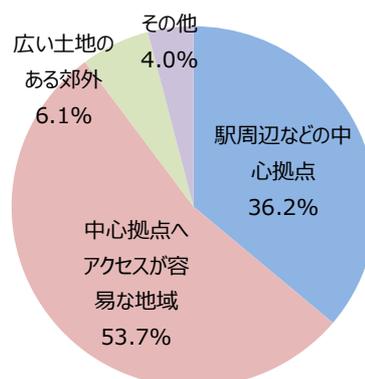
No.	カテゴリー名	n	%
1	進めるべき	441	58.6
2	どちらでもない	297	39.4
3	進めるべきでない	15	2.0
	全体	753	100.0



問 19 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えによるコンパクトなまちが実現した場合、あなたはどのような場所に住みたいですか？

「中心拠点へアクセスが容易な地域」が53.7%と最も多く、次いで「駅周辺などの中心拠点」が36.2%、「広い土地のある郊外」が6.1%となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	駅周辺などの中心拠点	277	36.2
2	中心拠点へアクセスが容易な地域	411	53.7
3	広い土地のある郊外	47	6.1
4	その他	31	4.0
	全体	766	100.0



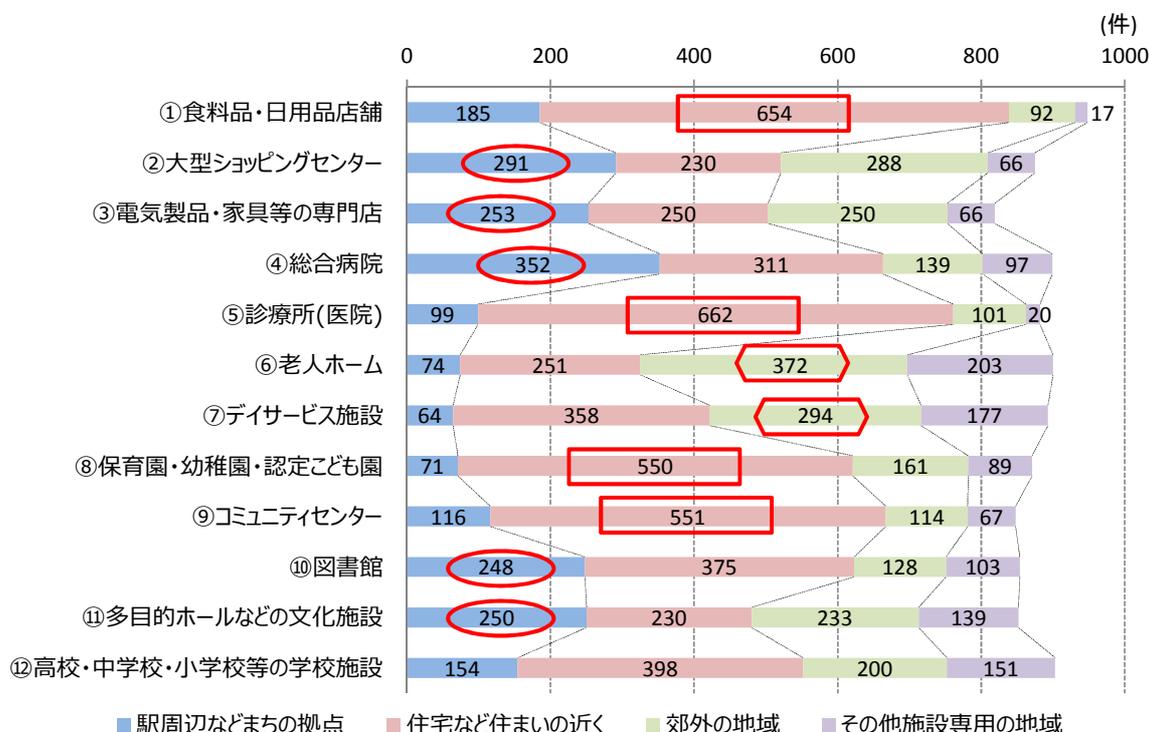
問 20 今後のまちづくりにおいて、日常生活に関わりのある次の施設は、どのような場所に配置されるべきだと思いますか？

鉄道駅周辺などまちの拠点に配置されるべき施設については、「④総合病院」が352件と最も多く、次いで「②大型ショッピングセンター」が291件、「③電気製品・家具等の専門店」が253件、「⑪多目的ホールなどの文化施設」が250件、「⑩図書館」が248件となっており、まちの拠点には、大規模医療施設や商業施設、図書館・文化施設を配置すべきとの意見が多くなっています。

次に、住宅など住まいの近くに配置されるべき施設については、「⑤診療所(医院)」が662件と最も多く、次いで「①食料品・日用品店舗」が654件、「⑨コミュニティセンター」が551件、「⑧保育園・幼稚園・認定こども園」が550件となっており、日常生活における医療施設や商業施設、教育施設等を配置すべきとの意見が多くなっています。

次に、郊外の地域に配置されるべき施設については、「⑥老人ホーム」が372件と最も多く、次いで「⑦デイサービス施設」が294件となっており、福祉施設を配置すべきとの意見が多くなっています。

最後に、その施設専用の地域に配置されるべき施設については、「⑥老人ホーム」が203件と最も多く、次いで「⑦デイサービス施設」が177件、「高校・中学校、小学校等の学校施設」が151件となっており、福祉施設や学校施設を配置すべきとの意見が多くなっています。

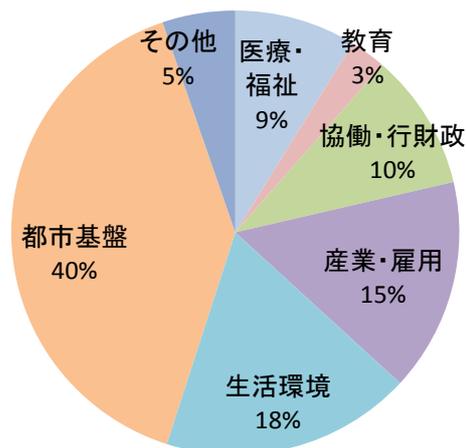


問 21 都市づくりについての提言（自由意見）

都市づくりについての提言（自由意見）では、回答者 799 人のうち、274 人（34.3%）の方から延べ 342 件のご意見・ご提言をいただきました。

○提言内容を、「医療・福祉」、「教育」、「協働・行財政」、「産業・雇用」、「生活環境」、「都市基盤」の 6 分野に区分した場合、「都市基盤」が 39.8%と最も多く、次いで「生活環境」が 18.1%、「産業・雇用」が 15.5%となっています。

分類	件数	割合(%)
医療・福祉	30	8.8
教育	9	2.6
協働・行財政	34	9.9
産業・雇用	53	15.5
生活環境	62	18.1
都市基盤	136	39.8
その他	18	5.3
合計	342	100



○分野ごとに、提言内容を細分化して整理すると次のとおりです。

■都市基盤

○「都市基盤」に関する提言内容をみると、「道路・交通網の充実・改善」に関する意見が 44.9%と最も割合が多く、次いで「市街地の整備」が 22.1%、「空き家・土地の有効活用」が 14.0%となっています。

都市基盤	件数	割合(%)
空き家・土地の有効活用	19	14.0
市街地の整備	30	22.1
住宅施策の推進	3	2.2
道路・交通網の充実・改善	61	44.9
防災環境の確保	4	2.9
遊戯施設の充実	13	9.6
その他	6	4.4

● 主な意見の概要

- ・空き家対策・有効活用
- ・区域区分を見直して、土地の安い市街化調整区域の開発
- ・山の整備
- ・コンパクトシティになった時、中心部の土地の固定資産税が上がらないようにしてほしい
- ・老朽家屋解体後の土地の税金を安くしてほしい
- ・県道 144 号沿いの上島田、周防地区の田んぼ活用も考えるべき
- ・光駅周辺の土地有効利用
- ・空き地の有効活用

- ・光青年の家の有効活用
- ・空き店舗の撤収
- ・里山管理対策
- ・①光駅の橋上化、②瀬戸風線の整備、③浅江地区に防災拠点を備えた大規模総合公園の設置
- ・海岸周辺は自然災害対策
- ・防災無線の放送が聞きとりにくい
- ・駅周辺の整備・防災・減災対策
- ・インターネット環境、文化芸術環境の整備などの充実
- ・小学生の遊び場、遊具などをつくってほしい
- ・冠山総合公園の充実
- ・多くの人が集まる公園とコミュニティができる施設の併設
- ・海に関する科学館施設等があれば良い。交通が便利で皆が集まれるショッピングと少し娯楽施設を集めた場所があると良い
- ・虹ヶ浜海岸の公園化
- ・大蔵池公園の整備
- ・ウェルネスパークのような公園の整備
- ・草スキー場の整備
- ・ゲームセンターやアニメ店の誘致
- ・市内に買いたいものがない
- ・JR光駅の線路上に複合施設の建設
- ・食と医療の2つの利便性を確保すべし
- ・光井を中心に浅江から大和の人口交流が必要
- ・上島田に、食品店や病院やバス停等がない
- ・山口市のYCAMのような誰もが憩える施設があるとよい
- ・幼稚園、学校、老人施設等を住宅地の近くに配置することで効率的なまちづくりになるのではないか
- ・駅前にアパートとスーパー、病院、老人ホーム等の複合型施設
- ・車ではなく歩き・バスなどで利用していける範囲になにもかもが集約されていればとても住みやすい光になるのでは
- ・箱物を作って利用できるものであればよい。箱物を集約できるようなものであればもっとよい
- ・光市の魅力ある「核」をつくる
- ・駅前に個人の店があってもちょっと立ち寄ってお話ができるティールーム等もあつたら楽しいだろう
- ・一部の地域への集約は地域格差が大きくなり不公平感が出るのではないか
- ・コンパクトなまちづくりを期待する。中心地を持たないままではライフラインの維持すら困難な未来像しか見えない。市長の早期の英断に期待
- ・鉄道駅を中心としたまちづくりが必要
- ・3万人のまちづくりを想定し、マスタープランの見直しをすべき
- ・JR光駅周辺の整備、充実
- ・普通の暮らしができるような都市の発展
- ・駅周辺の活性化が第一。市内から出なくても生活できるまちづくり
- ・人口増へのまちづくり
- ・下松市のまちづくりを見習ったまちづくり
- ・一か所で何事もできるような施設があればいい生活ができる
- ・無駄な箱物はいらない
- ・光市役所周辺の再開発
- ・大和との合併の意味がない
- ・住宅建設
- ・地域に愛着があっても都市の近くが変わるしかないのか
- ・老人は身体が弱く、少子高齢化が進む現代社会において非常に生きづらい
- ・道路の改築
- ・ぐるりんバスの運行範囲の拡大、増便
- ・電車、バスの増便

- ・福祉タクシーの実現と明るく楽しく過ごせる老人ホーム
- ・地域公共交通の充実や移動販売車の促進に係る事業者への行政支援
- ・新しい市立病院も室積からバスで行けるといい
- ・図書館の場所について、子どもが一人で行くにはバス停から遠すぎる
- ・公共交通について、福岡のように小型のコミュニティーバスがとても便利で良い
- ・施設を集約し、バスルートを少なくして本数を増やす
- ・公共交通のルート、車両等の改善
- ・デマンド交通の充実
- ・川の側や森林浴のできる遊歩道の整備
- ・街路樹は撤去し、歩道、自転車道とすべき
- ・住宅地に車でしか行けないなんて意味ない
- ・踏切による渋滞の解消、交通の円滑化
- ・乗合タクシーの導入
- ・高齢者への支援が十分に出来ているかが心配
- ・瀬戸風線の早期開通
- ・医療、買物等、交通機関が便利になればと希望
- ・ネットワークは良いが拠点へのアクセスが重要で、特に小型バスによる輸送回数が多くなければ意味がない
- ・特定のエリアを公共交通でつなぐという事はとても生活がしやすくなるので是非実現を
- ・車の運転が出来なくなるときを考えるとおそろしい
- ・バス停留所の整備
- ・都市機能を有する施設の立地は、公共交通手段がある場所であるべき
- ・自宅から、各種施設への移動が今後の課題
- ・都市機能を有する施設の立地は、公共と自然災害の恐れがないところであれば、場所は問わない
- ・行きあたりばったりのまちづくりは×
- ・コンパクト都市、良いことと思うが、その他に私たちが何をどう努力すればよいか、具体的なイメージがわからない
- ・JR光駅のバリアフリー化
- ・河川の整備
- ・家の近くに色々な施設があれば便利だが、そうはならない

■生活環境

- 「生活環境」に関する提言内容をみると、「子どもや若者向けの施設の充実」に関する意見が19.4%と最も割合が多く、次いで「環境保全の推進」が17.7%、「その他」が16.1%となっています。

生活環境	件数	割合(%)
環境保全の推進	11	17.7
景観の向上	5	8.1
公共施設の整備	5	8.1
高齢者施設・バリアフリーの充実	7	11.3
防犯・交通安全の充実	8	12.9
子どもや若者向けの施設の充実	12	19.4
廃棄物処理等の推進	4	6.5
その他	10	16.1

● 主な意見の概要

- ・パチンコを減らし、環境のよいまちに

- ・野焼きをする方への注意喚起
- ・小・中・高校生への環境教育
- ・海水浴場の環境改善。光駅前緑化施設
- ・自然環境の活用
- ・植木が道路にはみでて、交通の支障となっているところがある。街路樹の管理も一貫性を持って行ってほしい
- ・「花と緑のまち」中途半端な事業はやめて、徹底的に予算を投入
- ・美しいまちづくりをしてほしい
- ・街路樹の整備をしてほしい
- ・景観を意識した松林の改善
- ・国道の除草
- ・光市役所を浅江に建て替えないこと
- ・上下水道100%を実現
- ・ライフラインに関して、身近な所を充実させてほしい
- ・南海トラフ地震（津波）の心配から市役所、警察署は消防署の近くに移した方がよい
- ・公共施設・駅のトイレの洋式化及び清潔化
- ・公共施設のバリアフリー化
- ・年金で入れる老人ホームがほしい
- ・介護事業の充実
- ・健康寿命延伸のため、軽運動や対話等ができる施設の各地域への設置による、明るい生活環境の構築を期待
- ・光駅のバリアフリー化
- ・防犯カメラの設置
- ・都市機能を集約することは賛成であるが、コミュニティを集約することは反対
- ・市街地内の国道188号では、交差点右折専用レーン以外での右折を禁止してほしい
- ・国道188号などの街路灯を増やしてほしい
- ・住宅の生垣や駐車などが、道路の通行の資料となり、迷惑
- ・若者転入のため、子育て支援手当や支援施設の利便性を良くするなどの取組みを望む
- ・娯楽、職場を充実させて人と人との出逢いを生むべき
- ・若い世代が住みやすいまちにしてほしい
- ・コンパクトなまちになると中心部の地価が上がり、若者が定住しづらくなるのではないかと
- ・子供が遊べる場所の充実
- ・子供達が将来故郷に戻ってきたいと思えるまちづくりをしてほしい
- ・ごみの分別とか無駄
- ・ごみの分別が厳しすぎる
- ・ごみの不法投棄などマナーがなっていない
- ・ごみ分別場を綺麗にしてほしい
- ・市の衰退に歯止めの施策
- ・独居老人等のサポートをどうしていくかが気になる
- ・子供のいない夫婦にも何かしてほしい
- ・灯油ボイラーを禁止
- ・屋外で犬を飼うことを禁止
- ・ドッグランがあると良い
- ・東部憩の家の利用環境の改善
- ・人権を尊重し、男女若老とわず支え合い、助け合う社会

■産業・雇用

○「産業・雇用」に関する提言内容を見ると、「商業の振興」に関する意見が45.3%と最も割合が多く、

次いで「雇用対策」が28.3%、「観光の振興」が26.4%となっています。

産業・雇用	件数	割合(%)
観光の振興	14	26.4
商業の振興	24	45.3
雇用対策	15	28.3

● 主な意見の概要

- ・ 何度も訪れたいと思われるようなまちにしてほしい
- ・ 虹ヶ浜に安く泊まったり遊んだりできる施設の建設
- ・ 白砂青松の海を活用した観光施策
- ・ 冠梅園周辺に飲食、娯楽施設のある「道の駅」
- ・ 室積の忠魂碑の案内板の改善
- ・ 観光客を誘致し、金を使ってもらふ施策が必要。長期滞在型の観光実現
- ・ イベントに力を入れることが都市の発展につながる
- ・ 三島温泉の充実
- ・ 企業誘致・雇用創出
- ・ 安心して働ける仕事が多いとよい
- ・ 大規模農業経営に参画してみたい
- ・ 農業などに関心のある若者世代の支援
- ・ 職場アピール
- ・ 光の名物・特産品を利用し、集客が見込まれる店の誘致・開発を推進する必要
- ・ 大型ショッピングセンターの誘致
- ・ 所々に農協販売所があると便利
- ・ 診療所や福祉施設も入った複合大型ショッピングセンターの誘致
- ・ ショッピングセンター等は他の所でもよいと思う
- ・ 皆が楽しめる場所がほしい。飲食店、回転寿司の誘致
- ・ コンパクトなまちづくりはとても良いと思うが、郊外は今よりさらに過疎化が進むのでは
- ・ 大型ショッピングセンターは、住宅地など住まいの近くが、非常に便利だと思う
- ・ 個人店や地元の店舗を盛りあげ、衣食住の質を上げられるような提案を発信している施設などがあるとよい
- ・ 駅周辺への専門店、飲食店、ショッピングセンターなどの誘致
- ・ プロから色々教わりながら買い物ができる市場があればいい。地場産のお魚や野菜がもっと身近になってほしい
- ・ 自分の住む地域で、歩いて買物が出来る店をつかってほしい
- ・ 光市は飲食店が少なく、休日には下松、周南などへ人が出ていくので、もったいない
- ・ スーパーマーケットの誘致
- ・ 山田・亀山地区から岩田地区へ間にコンビニ等誘致

■ 協働・行財政

○ 「協働・行財政」に関する提言内容をみると、「自治体の運営・体制」に関する意見が41.2%と最も割合が多く、次いで「協働・コミュニティの推進」が23.5%、「その他」が17.6%となっています。

協働・行財政	件数	割合(%)
協働・コミュニティの推進	8	23.5
財政確保	2	5.9
自治体の運営・体制	14	41.2
税金・水道料金の削減	4	11.8
その他	6	17.6

● 主な意見の概要

- ・町内会事務の負担軽減
- ・市民が一丸となって行えるイベントや年配の方でも参加できる行事等
- ・コミュニティ活動を利用し、全国に負けない市をつくってほしい
- ・コミュニティ組織がもっと利用できると助かる
- ・自治会参加を強制されたくない
- ・誰もがいろんなことに携わり、安心して暮らせる光市にしてほしい
- ・クリーン大作戦の参加率が上がる取組み
- ・自助・共助・公助の地域づくり。そのためには地域住民の意識改善が重要で、ボランティア活動の推進や、活動を支援する行政の仕組みが必要
- ・競争重視でコストダウンを徹底し、健全な財政
- ・税収の確保が必要。大型商業施設又は複合施設の建設など。下松市がよい例だと思う
- ・議員、公務員、準公務員数及び給与の削減
- ・年間を通じた休日行政窓口
- ・無駄な箱物はいらない
- ・税金の無駄と言われない予算編成
- ・市職員の対応に満足している
- ・市会議は多数決で決めないようにしてほしい。大和地区を公平にしてほしい
- ・地域愛着とコストのバランスがとれたまちづくり
- ・図書館、文化センターの駐車場を市民利用に利用させてほしい。市役所職員は公共交通機関の利用を
- ・行政組織の再編
- ・上水道、下水道料金が低い
- ・探究心をもって臨んでほしい。市職員の熱意が重要
- ・広報ひかりについて、下松市と同じように月1回の発行で十分
- ・自然環境、昔からの祭典、史跡のPR、安全安心のまちづくり
- ・高齢者の社会参画機会の確保
- ・高齢者の意見も大切だが、若い世代の意見も取り入れてほしい
- ・机上の空論はしないでほしい

■ 医療・福祉

○「保健・福祉分野」に関する提言内容をみると、「新設病院・スタッフの充実」に関する意見が36.7%と最も割合が多く、次いで「医療体制の充実」、「子育て支援制度の充実」が20.0%、「高齢者支援制度」が13.3%となっています。

医療・福祉	件数	割合(%)
医療体制の充実	5	16.7
高齢者支援の充実	4	13.3
子育て支援制度の充実	7	23.3
障害者支援制度の充実	1	3.3
新設病院・スタッフの充実	11	36.7
その他	2	6.7

● 主な意見の概要

- ・巡回診療車による巡回診療はできないか
- ・病院誘致

- ・子ども救急が市内にほしい
- ・総合病院の充実
- ・高齢者世帯への緊急通報装置ができるとありがたい
- ・今の家に住んで、外に出られなくても生活できるようなシステムを作ってほしい
- ・総合病院跡地を高齢者サービス付住居として活用するなど、人口転入施策
- ・大和においては、今後、福祉関係が必要
- ・特定不妊治療費助成制度の適用拡大
- ・子育て環境の充実
- ・保育士の待遇改善
- ・習い事もできる学童施設をつくるなど、母親が積極的に働きに出られる仕組み
- ・乳幼児・子ども医療費制度の所得制限の撤廃
- ・光総合病院の移転新築はしなくてよい
- ・新光総合病院に期待する
- ・福祉サービスの充実

■教育

○「教育」に関する提言内容をみると、「教育施設の充実・改善」に関する意見が66.7%と最も割合が多く、次いで「スポーツの振興」が22.2%、「青少年の健全育成」が11.1%となっています。

教育	件数	割合(%)
教育施設の充実・改善	6	66.7
スポーツの振興	2	22.2
青少年の健全育成	1	11.1

● 主な意見の概要

- ・学校へのエアコン設置
- ・小・中学校の統合
- ・全てが中途半端。人を育てるための施設が古く、予算をかけていないのは課題
- ・チャイビステーションのような子育て支援施設の増設
- ・図書館の充実
- ・体育館の統合と既存施設の有効活用
- ・アクセス性のよいゴルフ場がほしい
- ・青少年の健全化

1 アンケート調査票

光市の今後の都市づくりに向けた 市民アンケート調査

調査協力をお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、平成24年3月に、市の都市計画に関する基本的な方針（都市づくりの指針）である「光市都市計画マスタープラン」を策定し、『人の活力と豊かな自然が調和した 多核連携によるコンパクトな都市』を将来都市像に掲げ、その実現に向けて取組みを進めています。

また、本年3月には、今後5年間のまちづくりの総合的な指針である「第2次光市総合計画」を策定し、人口減少下においても利便性が高く、かつ持続可能な都市の実現に向けて、将来の都市のあり方を明確にして、行政、住民、民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを推進することとしています。

このアンケートは、本市における将来の都市のあり方や今後の都市づくりを検討する上での基礎資料とさせていただきますために、皆さんの日常の行動や日ごろ感じておられること、あるいは都市づくりに関するご意向などをお聞きするものです。

なお、このアンケートは、16歳以上の市民の皆さんの中から2,000人の方を無作為に選んでお送りしています。また、集計結果は公表しますが、個人に関わる情報が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

平成29年8月

光市

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に○（マル）印をつけてください。設問によって○印をつける数が異なりますので、ご注意ください。
- 封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答えください。
- この調査票は、同封しました返信用の封筒に入れ、切手をはらずに8月14日（月）までにご投函ください。住所、氏名の記入は不要です。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<問合せ・連絡先>

建設部 都市政策課 都市計画係 担当：國弘（くにひろ）
TEL：0833-72-1574
FAX：0833-72-3478
E-mail：toshi@city.hikari.lg.jp



設問 10 電車やバスなどの公共交通の利用頻度は？

< 1つだけに〇印 >

- ① ほとんど毎日 ② 週1～2回程度 ③ 月1～2回程度 ④ 3か月に1回程度
 ⑤ 6か月に1回程度 ⑥ 1年に1回程度 ⑦ 利用しない

3 お住まいの地区について

設問 11 あなたがお住まいの地区（設問5で選んだ地区）の住みやすさについて、お尋ねします。次の20の項目ごとに、現在の評価（満足度）と今後の重要性について、あなたのお考えに最も近い番号を1つずつ選んで〇印をつけてください。

項目	現在の評価（満足度）					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない
※ 記入例	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
① 食料品の買物のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 日用品や衣料品などの買物のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 病院などの医療施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 福祉施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 子育て支援施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 行政サービスの利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ コミュニティセンター(旧公民館)の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 公園や広場の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 遊戯・娯楽施設の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 徒歩や自転車での移動のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 自動車や自動二輪車での移動のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭ 日照や静けさなどの住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮ 海や山など自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑯ 美しいまちなみや景観	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑰ 防犯上の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑱ 地震や水害などに対する防災上の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑲ 近所づきあい・地域コミュニティ活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑳ ①～⑱をふまえた総合評価	1	2	3	4	5					

4 居住に関する意向について

設問 12 あなたのこれまでの居住履歴は？

< 1つだけに○印 >

- ① 光市に生まれ、現在まで同じ場所に住んでいる
- ② 光市に生まれ、市外に転出したことがある
- ③ 光市に生まれ、市外に転出したことはないが、市内で引っ越したことがある
- ④ 県内の他の市町から転入してきた
- ⑤ 県外から転入してきた

設問 13 現在のお住まいを決める際に重視したことは？

< あてはまるもの全てに○印 >

- ① 住宅の品質（間取りや機能など）
- ② 住宅の価格や家賃
- ③ まちの雰囲気
- ④ 通勤・通学の利便性
- ⑤ 買物等の日常生活の利便性
- ⑥ 医療施設の利便性
- ⑦ 福祉施設の利便性
- ⑧ 子育て支援施設の利便性
- ⑨ 行政施設や文化施設の利用性
- ⑩ 公共交通の利便性
- ⑪ 自然環境
- ⑫ 日照や静けさ
- ⑬ 防犯上の安全性
- ⑭ 防災上の安全性
- ⑮ 実家や親戚、友人の住まいへの近さ
- ⑯ 実家であるため
- ⑰ その他（ ）

設問 14 現在のお住まいに今後も住み続けたいですか？

< 1つだけに○印 >

- ① ずっと住み続けたい
- ② できれば住み続けたい
(市外に転出しても、光市に戻ってきたい場合を含む) } → 設問 15 へ
- ③ いずれ市内の別の場所へ引っ越したい
(具体的な場所： _____ 地区 (設問 5 の区分を参照))
- ④ いずれ市外へ引っ越したい
(具体的な場所： _____ 都道府県 _____ 市町村) } → 設問 16 へ
- ⑤ どちらともいえない → 設問 17 へ

設問 15 【設問 14 で①、②を選択した方にお聞きします】

住み続けたい理由・要因は？

< あてはまるもの全てに○印 >

- ① 地域に愛着やなじみがある
- ② 住宅の品質（間取り、機能など）に満足
- ③ 住宅ローンを返済したから、又は家賃が安い
- ④ 通勤・通学が便利
- ⑤ 買物が便利
- ⑥ 医療サービスが充実
- ⑦ 福祉サービスが充実
- ⑧ 子育て環境や子どもの教育環境がよい
- ⑨ 行政施設や文化施設が利用しやすい
- ⑩ 公園などが利用しやすい
- ⑪ 自家用車での移動がしやすい
- ⑫ 公共交通の利便性がよい
- ⑬ 徒歩や自転車で生活しやすい
- ⑭ 緑や自然環境が豊か
- ⑮ 治安がよい
- ⑯ 近所づきあいや地域コミュニティに満足
- ⑰ その他（ ）

【設問 17 にお進みください】

